

## 2019WTS 横浜大会

# オペレーションマニュアル【バイク】

【TO用】

第 1.1 版

作成者	岩田 聖市
作成日	2019年3月31日
最終更新日	2019年5月14日

## 目次

2019WTS 横浜大会 .....	1
目次 .....	2
体制 .....	3
1. TO・ボランティア一覧 .....	3
会場・コース .....	7
1. 会場・コース図 .....	7
2. スタッフ配置図 .....	9
3. ボランティアスタッフ(責任者と人数)・トイレ配置図 .....	11
4. バイクコースタイムテーブル .....	12
業務詳細・留意事項 .....	13
1. 共通事項 .....	13
2. 定点エリア .....	17
3. 業務別詳細および留意点 .....	20

### ■略語一覧

TO	テクニカル・オフィシャル(審判員)
CTO	チーフテクニカル・オフィシャル
SCTO	サブチーフテクニカル・オフィシャル
ACTO	エリアチーフテクニカル・オフィシャル
MTG	ミーティング

## 体制

### 1. TO・ボランティア一覧

#### CTO/SCTO (ACTO) /TO 一覧

名前	役割/無線 No.	役割	連絡先
岩田聖市	CTO /14	全体統括	090-4173-3765
松村 一彦	SCTO/15	山下ふ頭(TR周辺) ACTO	090-4202-2505
篠原永年	SCTO/16	山下ふ頭(新山下) ACTO	
鈴木陽輔	SCTO/17	山下公園前通 ACTO	090-8229-7237
浅海 聡	SCTO/21	移動バイク ACTO	090-8806-1166
糊澤 信	SCTO/18	ステルスバイク ACTO	090-8818-2415
今橋 尚也	ACTO/19	新山下方面 ACTO	

#### TO 一覧および担当エリア

山下ふ頭(TR周辺)方面 ACTO:松村 一彦 (090-4202-2505)

名前	担当・役割	無線	備考・備品
内藤 義之	B2	○ No.53	矢印 6 SLOW/DOWN 2組、コーン連結用テープ
登坂 高志	B2		トラメガ
鷺塚 浩二	B2		竹ぼうき 2
久野 晴彦	B3		ガムテープ
青木 博幸	B5		赤白旗 1
長谷川満彦	B25		

山下ふ頭(新山下周辺)方面 ACTO: 篠原永年(

名前	担当・役割	無線	備考・備品
小野 明	B7		
浦邊 憲之	B9		右カーブ矢印(往)
小西 輝佳	B10		左カーブ矢印(復)
青柳 雅一	B10		トラメガ
唐沢 幸広	B12		竹ぼうき 2
水越 照夫	B13		ガムテープ
森高 律子	B15		赤白旗 1
小室 博之	B16	○ No.52	
山田 聡	B19		
忠 竜夫	B22		
木南 繁	B24		
竹下 勝博	B24		

山下公園前方面 ACTO: 鈴木陽輔 ( 090-8229-7237 )

名前	担当・役割	無線	備考・備品
葉袋 充生	C1		折返し大小、矢印 5、SLOW/DOWN 2 組
今雅利	C1		
竹花 伸一	C2		
西 知美	C4		
水野 真之	C6		SLOW/DOWN 2 組
戸田 賢治	C7		左カーブ矢印(往)、竹ぼうき 2
中山 偉久	C7		

トイレ前横断路は、トランジション TO で対応する

新山下方面 ACTO: 今橋尚也

名前	担当・役割	無線	備考・備品
山本 孝児	C9		トラメガ
堀田 克行	C14(横断路)		竹ぼうき 4
鶴見 耕市	C14(横断路)		ガムテープ
下川 昌樹	C14(横断路)		
浜山 恭光	C14(横断路)		赤白旗 1
押木雅朋	C14(横断路)		
坂口勝啓	C14(横断路)		
瀬川 寛	C16		SLOW/DOWN 2 組
武田 正巳	C17	○ No.54	無線は C16~18 をカバーする
柳 志延	C17		SLOW/DOWN 2 組、右折後／折返し
古谷勝義	C18		
浅利 峰欣	C18		折返し大小、矢印 5、SLOW/DOWN 2 組
吉澤 健	C18		コーン連結用テープ

モーターバイク ACTO: 浅海 聡 (090-8806-1166)

名前	担当・役割	無線	備考・備品
西廣 晴光	モーターバイク1		パラ TRI1 ラン追跡 バイク審判看板
福渡 純	モーターバイク2		パラ TRI1 ラン追跡 バイク審判看板
大村 真人	モーターバイク3		バイク審判看板
伴 伸夫	モーターバイク4		バイク審判看板
鈴木仁	モーターバイク5	○ No.20	パラ TRI1 ラン追跡 バイク審判看板
野中正宏	モーターバイク6		バイク審判看板
山口 孝	モーターバイク 交代要員		

ステルスバイク ACTO: 糊澤 信 (090-8818-2415)

名前	担当・役割	無線	備考・備品
鈴木圭吾	ステルスバイク1		パラ TRI1 ラン追跡 バイク審判看板
糊澤 信	ステルスバイク2	○ No.18	バイク審判看板

**ボランティア一覧および担当エリア**

(なし)

## 備品一覧

備品名	員数	特記事項	備考
周回分岐看板	2/2枚	バイクスタートと周回が合流する B3 地点	
矢印看板(左)	6/12枚		
矢印看板(右)	8/12枚	エリート用? B2で5枚、他 C1,C18等 右折や折返し地点で使えるので 15枚程度あるといい	
折り返し看板	2枚		
SLOW DOWN看板	6枚		
BUMP看板	6枚		
TO Bike	8枚		
Last Bike	1枚		
移動バイク看板	2枚	JTUベストに看板を張り付ける	
バイク移動用マイク	2台		
竹ぼうき	12本		
トラメガ	3台		
ガムテープ	5組	黄色、白、赤	
簡易アスファルト	2袋		
麻袋	5袋	エリア毎に小分けできる袋	
スコップ	5本		
赤白旗	10組		
バナーテープ	2本	新山下折返しポイント(コーン連結用)	
軍手	50組		
関門看板	2枚	関門時刻が近づいたら周回分岐の B2地点に 設置 「12:25 周回関門 」(時刻は TBD)	

## 会場・コース

### 1. 会場・コース図

エイジパラコース



エイジコース



スタッフ配置図



メディカル配置

救護所・メディカルテント

- ①健康チェックテント ②氷川丸側バルコニーメディカル ③フィニッシュ救護所 ④スタートボート待機場所  
 ⑤山下ふ頭メディカル ⑥本牧ふ頭メディカル ⑦家の鼻メディカル

➡…緊急車両

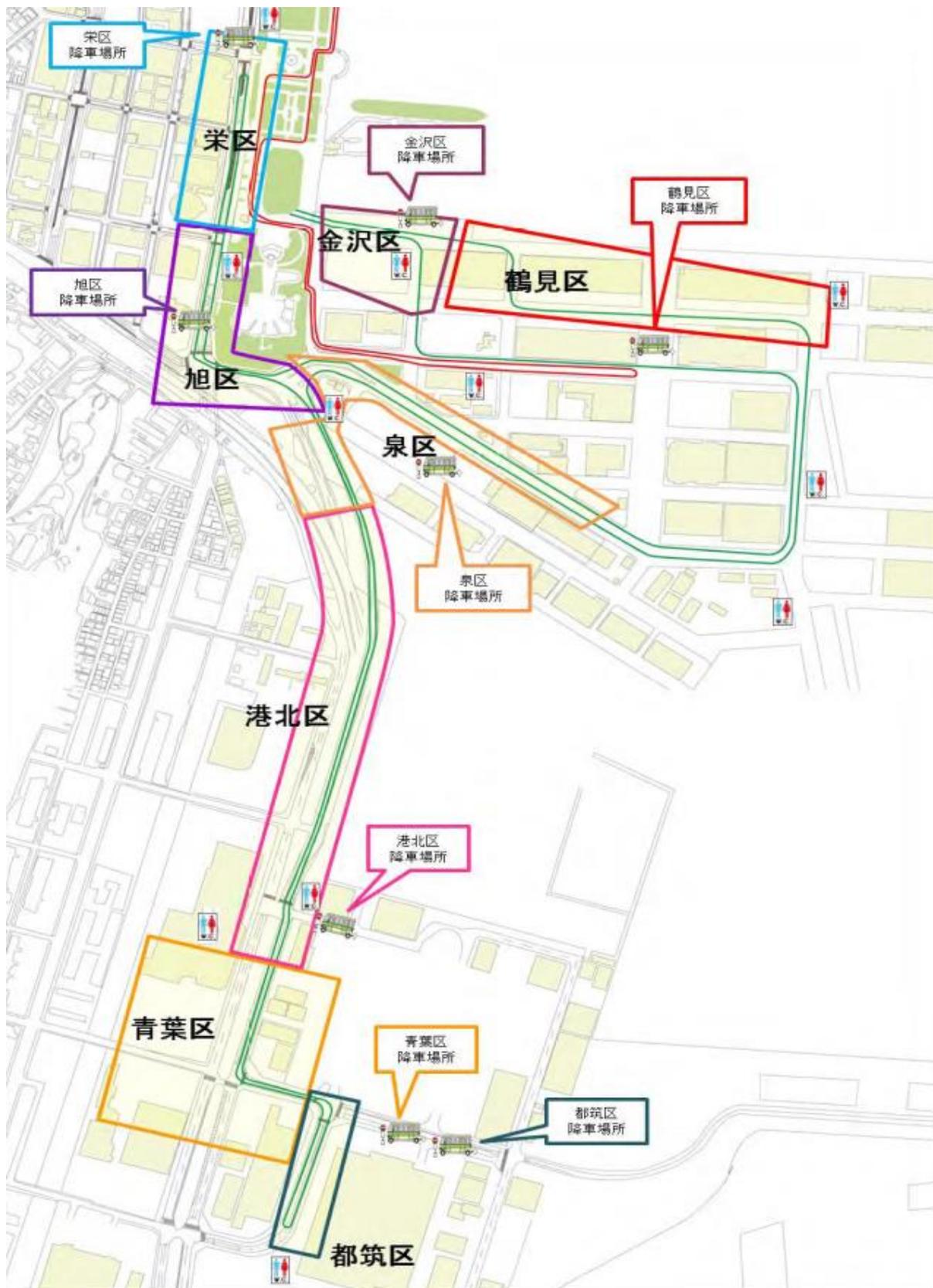


### 3. ボランティアスタッフ（責任者と人数）・トイレ配置図

山下埠頭内→B9・B13・B19・B22

新山下方面→C14・C18・C14～C15の道路反対側のホームセンター内 を利用してください

なお、ボランティアスタッフ、スポーツ協会の備品配置は以下です。



### 4. バイクコースタイムテーブル

LAP	エイジBIKE⑥ (ホテルニューグランド前折返し地点)					
	パラトライアスロン		スタンダードディスタンス		スプリントディスタンス	
	先頭	最後尾	先頭	最後尾	先頭	最後尾
First Lap	7:33:43	7:55:23	8:27:43	11:18:27	11:27:41	12:10:23
2 Lap	7:44:56	8:15:11	8:37:43	11:35:57	11:37:35	12:30:11
3 Lap			8:47:43	11:53:27		
4 Lap			8:57:43	12:10:57		
5 Lap			9:07:43	12:28:27		
Final Lap	7:56:09	8:34:59	9:17:43	12:45:57	11:47:29	12:49:59

※ ①をスタートし②～⑦～②を6周回行。6周回後①に戻る。

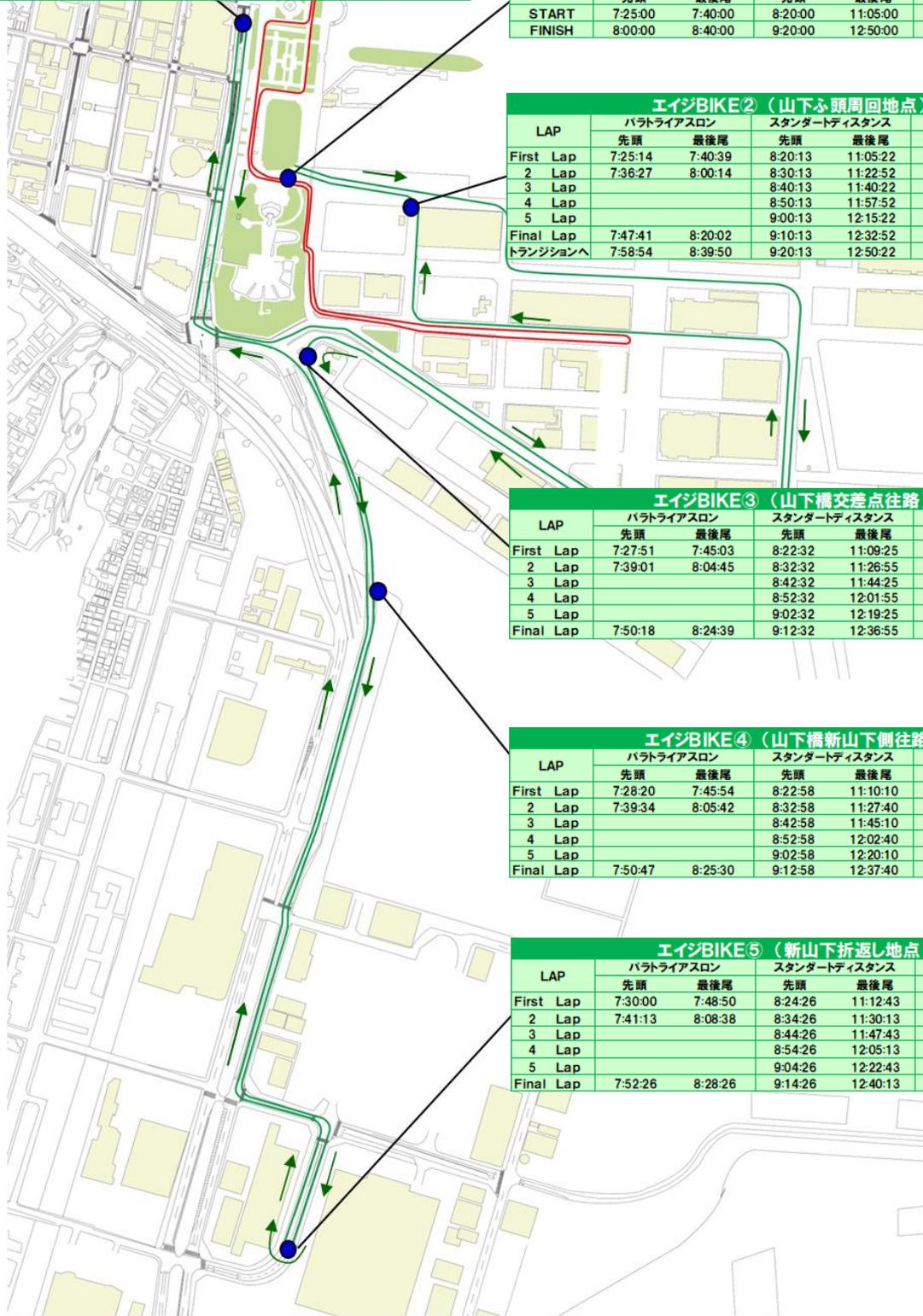
LAP	エイジBIKE① (START 地点)					
	パラトライアスロン		スタンダードディスタンス		スプリントディスタンス	
	先頭	最後尾	先頭	最後尾	先頭	最後尾
START	7:25:00	7:40:00	8:20:00	11:05:00	11:20:00	11:55:00
FINISH	8:00:00	8:40:00	9:20:00	12:50:00	11:50:00	12:55:00

LAP	エイジBIKE② (山下ふ頭周回地点)					
	パラトライアスロン		スタンダードディスタンス		スプリントディスタンス	
	先頭	最後尾	先頭	最後尾	先頭	最後尾
First Lap	7:25:14	7:40:39	8:20:13	11:05:22	11:20:13	11:55:26
2 Lap	7:36:27	8:00:14	8:30:13	11:22:52	11:30:07	12:15:14
3 Lap			8:40:13	11:40:22		
4 Lap			8:50:13	11:57:52		
5 Lap			9:00:13	12:15:22		
Final Lap	7:47:41	8:20:02	9:10:13	12:32:52	11:40:01	12:35:02
トランジションへ	7:58:54	8:39:50	9:20:13	12:50:22	11:49:55	12:54:50

LAP	エイジBIKE③ (山下橋交差点往路)					
	パラトライアスロン		スタンダードディスタンス		スプリントディスタンス	
	先頭	最後尾	先頭	最後尾	先頭	最後尾
First Lap	7:27:51	7:45:03	8:22:32	11:09:25	11:22:31	12:00:03
2 Lap	7:39:01	8:04:45	8:32:32	11:26:55	11:32:22	12:19:45
3 Lap			8:42:32	11:44:25		
4 Lap			8:52:32	12:01:55		
5 Lap			9:02:32	12:19:25		
Final Lap	7:50:18	8:24:39	9:12:32	12:36:55	11:42:19	12:39:39

LAP	エイジBIKE④ (山下橋新山下側往路)					
	パラトライアスロン		スタンダードディスタンス		スプリントディスタンス	
	先頭	最後尾	先頭	最後尾	先頭	最後尾
First Lap	7:28:20	7:45:54	8:22:58	11:10:10	11:22:57	12:00:54
2 Lap	7:39:34	8:05:42	8:32:58	11:27:40	11:32:51	12:20:42
3 Lap			8:42:58	11:45:10		
4 Lap			8:52:58	12:02:40		
5 Lap			9:02:58	12:20:10		
Final Lap	7:50:47	8:25:30	9:12:58	12:37:40	11:42:45	12:25:30

LAP	エイジBIKE⑤ (新山下折返し地点)					
	パラトライアスロン		スタンダードディスタンス		スプリントディスタンス	
	先頭	最後尾	先頭	最後尾	先頭	最後尾
First Lap	7:30:00	7:48:50	8:24:26	11:12:43	11:24:25	12:03:50
2 Lap	7:41:13	8:08:38	8:34:26	11:30:13	11:34:19	12:23:38
3 Lap			8:44:26	11:47:43		
4 Lap			8:54:26	12:05:13		
5 Lap			9:04:26	12:22:43		
Final Lap	7:52:26	8:28:26	9:14:26	12:40:13	11:44:13	12:43:26



## 業務詳細・留意事項

### 1. 共通事項

数年前に落としたボトルを拾うためコース上で停車し後ろに向きを変えた選手に後続車が突っ込み、当該選手は後頭部を強打し救急車で搬送される事態となった。大事には至らなかったことが幸いである。危険防止のため競技中は停車しないことを今年も徹底したい。

#### 【TOとしての心得】

- (1)TOの活動は公正・公平・安全に競技を行うという選手の基本的な権利を守ることである。
- (2)TOは選手が安心して競技できる環境を確保し、選手を保護しトリアスロンの価値を保全するという重要な役割を担っている。
- (3)TOは、選手及び観客から、常に見られていることを意識する。
  - ・ 落ち着いて行動する。
  - ・ 選手、観客への言葉遣いは丁寧に。「ご協力お願いします。ご理解下さい」の精神で。
  - ・ 整理員、警備員と意思の疎通を図る。(事前に周囲への挨拶を徹底ください)
  - ・ レース時間、周回数、トイレの場所、バイクピックアップの時間等答えられるように準備する。
  - ・ 持ち場で起こり得ること(落車した場合、コースミスをした場合等)を事前にシミュレーションしておく。
  - ・ 持ち場を離れる時は、近くのTOに必ず伝える。

#### 【事故が起きた時の対応】

##### ■ 競技運営マニュアルに準じる

- ・ 接触事故や落車、メカトラ(パンクなど)があった場合はすぐに現場へ急行する。
- (1)当事者の保護と後続選手を含めた競技の安全確保を最優先とし、ボランティア、応援者やTOが事故に巻き込まれ2次被害が発生しないよう誘導する。
  - (2)当該選手及びバイクをコース端に誘導する。
  - (3)競技続行が可能かどうか判断する。  
(選手の意思が優先されるが、怪我の度合い等でTOが続行不能と判断する場合もある。)
  - (4)怪我の重軽度によって、以下の対応をとる。
    - ・ 救護テント場所へ案内する→山下埠頭内・本牧埠頭内(事前に場所を確認のこと)  
救急救命士に声をかける。なお、救命救急士はAEDなどを所持し、マウンテンバイクや徒歩によりコース沿道で待機しています。(ボランティアに呼んでもらうとよい)
    - ・ 選手の意識がない場合、骨折あるいは多量の出血が認められる場合は直接119番に連絡し救急車を呼ぶこと。その後、無線や携帯にて統括チーフへ連絡し、指示を仰ぐこと。  
(怪我の報告をする際は、①レースナンバー②氏名③症状の詳細④事故の場所を伝える。
    - ・ 119番へ対応している人の ①氏名②年令③症状の詳細④事故の場所は必須です
    - ・ その後直ちに事故発生地点、時刻、選手の状態とレースナンバーを確認して大会本部に無線連絡する。

【5/17(金)のタイムテーブル】

- 10:30 路面調査1/SCTO、ACTO/山下公園内エイジトランジションバイク出入口
- 13:30 路面調査2/SCTO、ACTO/山下公園内エイジトランジションバイク出入口
- 17:00 **T0 受付/全員/ホテルモントレー3Fロビー**

【5/18(土)のタイムテーブル】

- 5:30 T0 受付/全員(NTO以外)/山下公園内競技団体テント横入口**
- 15:45 エイジ各パートMTG/エイジバイクTO/山下公園内エイジトランジションバイク出入口**

【5/19(日)のタイムテーブル】

- 5:30 T0 受付/全員/山下公園内競技団体テント横入口**
- 5:35 各パート別打合せ/全員/山下公園内競技団体テント横入口  
(各パート別打合せ・備品の確認・配置)
- 7:00~7:35 /交通規制開始。公道部分のコース設営**  
**山下ふ頭内は各パート配置後ただちに設営開始**
- 7:15 /競技開始(パラ、スタンダード(男子、女子)、リレー、スプリント(男子、女子))  
エイジラップタイムシミュレーション(別紙4参照)
- 12:35 /山下ふ頭周回カットオフ
- 12:55 /バイク競技制限時間
- 13:10 /交通規制解除

【距離・コース】

(1) 距離

- スタンダード:6.6km×6周(40km)
- スプリント:6.6km×3周(20km)
- パラ(ハンドサイクル) :6.6km×3周(20km)
- パラ(フォイルチェア) :6.6km×1周(6.6km)

(2) コース

- 山下公園⇒山下埠頭⇒山下公園
- 周回数は選手が把握。周回数を聞かれたら、「〇周回したらフィニッシュ」と答える。

【交通規制】

- 交通規制/7:00~13:10
- 12:55から公道エリアの撤収となる。このため、12:35以降は新規に周回コースに入れない。最後尾にはバイク移動チーフを配置し管理する。

【ペナルティ】

- 適用ルールは以下を参照のこと。
- JTURルール(2019年(平成31年)1月22日)に、ローカルルール以外は則る。  
[http://www.jtu.or.jp/jtu/pdf/JTU\\_COMPETITIONRULES\\_20190122.pdf](http://www.jtu.or.jp/jtu/pdf/JTU_COMPETITIONRULES_20190122.pdf)  
(バイクパートP54~、ドラフティング関連P69~)

**ユニフォーム(39条)**

- 前面ファスナーは禁止されています。発見した場合は、ペナルティを科する場合があります。  
(バイク競技中にあけている選手を確認した場合、声掛けに留める)

ドラフティング禁止。ドラフティングゾーンは前走者のバイク前輪先端より後方10m。  
並走の場合もドラフティングとなる。

ドラフティングを注意する場合にはストップさせず、ホイッスル→ナンバーコール →  
(イエローカード)ペナルティ宣告 → ペナルティボックス。

定点審判員は該当選手に注意を促し、それでも駄目なら無線あるいは携帯で統括チーフ岩田に  
時間、場所、レースナンバーを連絡すること。→ 総括チーフ岩田より本部に連絡。

ペナルティ宣告は審判長権限とする。

#### 【ドラフティング・キープレフトの対応】

- ・ ドラフティングか否かは、  
「追い抜く意思を持って前に進んでいるかどうか」「故意に並走していないかどうか」
- ・ ブロッキングか否かは、  
「追い抜いたあともスピードを維持し、追い抜き完了後、キープレフトしたか」
- ・ 追い抜く時以外はキープレフトを維持しなければならない。左側追い抜きを発見した場合  
(もちろん左側追い抜きは禁止だが)追い抜いた選手と同時に、これを誘発した  
「センター寄り走行の選手」にも注意を与える。(安全走行違反の注意)  
いずれも、選手をしっかりと観察して、動いて、声を出して、違反行為を制止する。

#### 【リタイア時の対応】

T0は、リタイアの意味、レースナンバーと氏名を確認し、選手がはずしたアンクルバンドを回収する。

- ① 審判員はエリアチーフに口頭で報告し、アンクルバンドを渡す。
- ② エリアチーフは本部に無線で以下を報告する。アンクルバンドはレース終了後、本部に届ける。  
・レースNo. ・リタイアの理由 ・救護の要否 ・アンクルバンド回収状況
- ③ チーフは「リタイア選手リスト」を作成し、レース終了後審判長に提出する。
- ④ 自ら戻ることが可能なリタイアした選手へ、導線を案内する。(T0間で連携する)

#### 【無線や SNS での連絡の対応】

誰(定点番号と名前)から誰宛なのかを伝える

無線を持たれている方は、チーフを経由することなく、連絡を入れてください。

#### 【車両の出庫】

事前に箇所を把握し、付近の審判員は通過する選手に注意を促し、安全・迅速に車両の誘導を  
行うこと。

(昨年は、山下ふ頭より「やまたね」「あべ商会」の2台は申請あり。(関連:B19,C7)) → 当日  
確認

#### 【雨天時対応】

※危険エリア

B2周回地点・C1折返し・C6急カーブ・C7下りコーナー・C7急カーブ・C16急カーブ・  
C18折り返し・B10左折コーナー。

※落車多発地点エリアは、メガトラ、ホイッスル、「減速」注意コールとコース幅減少を行い、スリッ  
プ落車を防止し安全走行につなげる。(スポーツ推進委員へ協力要請)

### 【撤収時】

最終競技者通過後、最後尾のバイク移動チームの合図にて撤収作業を実施する。  
ボランティア、警備員へも最終競技者通過を案内し、労いの声掛けを実施のこと。  
また、撤収は警察官およびエリアチーフへの確認後に実施すること。  
なお、備品としてエリアへ持ち込んだ備品類は忘れずに本部へ持ち帰ること。

### 【メカニック、エイドステーション】

昨年までは、レース中も、山下ふ頭内エイドステーション横に、シマノメカニックを配置したが、今年はなし予定。

仮に設置される場合は、山下埠頭内に1ヶ所。エイドステーション前スペースにて設置される。  
設置された場合は、山下ふ頭のエリアチーフより、バイク TO へ連絡をいれる。  
利用する場合は、一時停止(ピットイン)する。

#### ■ 山下ふ頭エイドステーション詳細



### 【その他の備品】

#### 【大会開始前まで(当日)確認事項】

- ・ボランティアの人数、責任者
  - ・コース内で留まっている車両はないか？
  - ・大会運営中、車両移動はないか？
- =>
- ・イベントの実施連絡はないか？

## 2. 定点エリア

【山下公園前での対応(C1～C7)】 エリアチーフ 鈴木暢輔

備品：ラミネート看板(詳細は別紙1)、トラメガ、竹ぼうき2、赤白旗1、道路補修用テープ

C1：パラ(TR1)選手のランフィニッシュや緊急時の医療スタッフを乗せたモーターバイク出入り口として鉄柵の開閉移動があるため、**移動する柵へはバナー設置やタイラップ止めは実施しないように設備担当と調整する。**

折返し地点を選手にわかりやすく案内するために、手前に案内板を設置する。審判員は「スロウダウン」「折返し」のアナウンスを行う。

C5：人形の家駐車場前のガードを確認(去年は後からプラ柵設置)

C2～C7：C1では折返しゆえバイクが詰まりがち。観客の応援も多く、選手はがんばるが無理な追い越しは危険なので、「スロウダウン」「折返し」声掛けを徹底する。

※ 道路が陥没している箇所がある場合には、簡易アスファルトや土とテープで補修する(去年はC7付近)

【山下埠頭内分岐地点の対応(B1～B25)】 エリアチーフ 松村一彦、篠原永年

備品：ラミネート看板(詳細は別紙1)、トラメガ2、竹ぼうき4、赤白旗1、道路補修用テープ

分岐点(周回・フィニッシュ)大看板は設営担当が設置済

B2：周回／フィニッシュ分岐

分岐地点を選手にわかりやすく案内するために、手前50m地点と分岐点の2ヶ所に大型案内板を設置する。

TOは「周回」「フィニッシュ」のアナウンスを行う。

去年は、分岐を誤って、コースを戻ろうとして際に後続と衝突する事故があった。分岐誤りの際の復帰導線を明確にしておく。

12:55から公道エリアの撤収となる。このため、12:35以降は新規に周回コースに入れずカットオフ(DNF)を実施する。(周回が残っている選手にはDNFを宣言し、アンクルバンドを回収してランジョンへ案内する)

B9・B10：急カーブなので「スロウダウン」アナウンス

※道路が陥没している箇所がある場合には、簡易アスファルトや土とテープで補修する

**また、路面状態が悪い箇所は避けるようにコース設定する**



B2：周回／フィニッシュ分岐ポイント(昨年)

→ コーンバーや矢印があれば遠目からでもわかりやすい



B2: パラ用にコーンを倒して低い車体でもコーナや進行方向がわかるように  
→ 矢印看板、コーンバーがあれば利用する

【新山下方面の対応(C8～C9)】 エリアチーフ 今橋尚也

備品: ラミネート看板(詳細は別紙1)、トラメガ、竹ぼうき 4、道路補修用テープ、赤白旗1、草刈用具(あれば)

C9: 高架で狭いため、審判員の配置や落下物の対応に注意

C14: イベント会場、商業施設は開店しており横断を要求される場合がある。

センターライン付近に待機エリアを準備し、安全を確認しながら片車線ずつ横断させる。  
人数が足りない場合は、ボランティアに声をかけ、安全かつ速やかに実施する。

C16: 復路カーブがふくらまないように鉄柵の配置を注意

強風の場合、鉄柵が倒れる可能性があるため、横断幕にスリットを入れる  
往復ともカーブに突っ込んでくるのでSLOWDOWNをアナウンス  
去年はコーナーに草が生えていたため、除去

C17: 右折後折り返しであることをアナウンス

C18: 折返しポイント設営にあたっては、遠目からでも折返しであることが明確になるように。

折返しポイントのポストコーン(中央分離用)撤去箇所に置かれたカラーコーンは、  
大会中は移動して安全確保に活用する。

大会終了後に一般車両が不正に該当箇所ですりターンをしないために元の位置に戻すこと。  
エイジパラの選手が折返し箇所ですり止まった場合、サポートを実施する。



C16 (横断幕があると反対者車線が見にくい、落車時のガードになる)(昨年)



C18 パラレース中 折り返し ポイント（カラーコーンの矢印 または、コーンを進行方向に倒す）  
下記補強前。



C18 折返しポイント 奥行が意識できるようにスポンサーバナーを張り付けた

#### 【移動バイク、ステルスバイクの対応】

バイク移動審判員のベストを着用し、移動バイクには審判用バイクの看板を設置する。  
違反行為の未然の抑止、バイク目線でのコースセッティング確認を重要業務とします。  
各エリアや各定点TO間での連携や連絡も重要な業務としてお願いします。

(1) エリートバイクのオートバイ運転手ガイド「Moto Drivers Guide」を参考にすること。

(2) エイジパラ での対応

- ・エイジバイク並走時の安全確保のため、及び C1 地点で山下公園内へ入る際の鉄柵の移動のコントロールを行うために、TRI-1(競技用車椅子のラン)の選手の追走を行う。

→ 2019年は3名予定(モーターバイク3台(先頭・2番目・最後尾)でフォロー。

(鉄柵の移動はパラ担当(陣川)とエリアチーフ(鈴木)、TO 及び現場スタッフが実施する。)

- ・TRI-1 選手が、ランコース誘導地点(ホテルニューグランド前)に接近していることを、レースナンバーと共に無線でパラ担当(陣川)まで伝える。

## (3) 最終(バイクコースクリア)対応

- ・最終の判断はモーターバイクの前後に終了(THE END)の表示を掲示して走行する。

交通規制解除直前に、モーターバイクによる、選手追い上げをする際、追い上げを担当するTOは、「最後尾」のマークを表示する。また、追い上げでない場合は、そのTOがコース上を走行する場合には、「最後尾」のマークの表示はしないこと。(コース上にいるボランティアや設営スタッフが、競技中にも関わらず「最後尾」の表示をみて、コース撤収を開始してしまう懸念があるため)

### 3.業務別詳細および留意点

#### 1)チーフ、サブチーフ

- ① 競技運営マニュアルの作成
- ② 人員・機材の手配依頼
- ③ 審判員への競技運営事項指示伝達

#### 2)エリアチーフ

- ① 各エリアに必要な備品を準備し、各エリアへ持ち込むこと。また競技終了後持ち帰ること
- ② 各エリアのマーシャル出欠状況を把握し、チーフへ報告すること。

#### 3)担当 TO

- ① 選手誘導・安全確保
- ② レースナンバー表示の確認
- ③ 一般客誘導・安全確保・大会スケジュール説明  
ポイントに観客等の横断路がある場合には、観客や車両を横断させるかどうかの判断等はTOが行う。横断開始／中断の連携方法を決めておくこと。
- ④ コース設営修正(業者が設営したものを競技観点で修正)
- ⑤ 警察官、警備員、整理員、ボランティア等スタッフとの意思疎通を行う。
  - ・ 警察官→信号操作
  - ・ 警備員→一般車両の交通誘導
  - ・ ボランティア(スポーツ推進委員)→沿道警備、観客誘導、案内
  - ・ 整理員→交差点などの通行人、観客の誘導

ホイッスルの使用は緊急時のみとし、旗を使用する。  
(近隣住民からの苦情が多数寄せられている。)

大会当日の車両移動

7:20前後(パラ・バイクスタート前)

山下ふ頭にあるキョクレイより 車両 2 台が下記ルートで出庫します。エリア担当者は誘導ください。

